

Health and Productivity Management | 健康経営



「健康経営宣言」の制定

三井E&Sグループは、2018年4月に持株会社体制へ移行し、新たな一歩を踏み出しました。事業構造を大きく変革していくなかで、従業員一人ひとりの心身の健康保持・増進を一層推進するため、2019年7月に「三井E&Sグループ健康経営宣言」を制定しました。

●三井E&Sグループ 健康経営宣言

三井E&Sグループは、「社会に人に信頼される、ものづくり企業であり続けます」という企業理念のもと、ものづくりの力で社会の発展や地球環境の保全に貢献する企業を目指しています。
「安全第一、健康第一」はものづくり企業であり続けるための最優先事項であり、重要な経営課題です。
従業員とその家族の健康保持・増進を会社と健康保険組合が積極的にサポートし、安全で快適かつ健康的な職場環境を目指して、健康経営に積極的に取り組んでいきます。

2019年7月1日
株式会社三井E&Sホールディングス
代表取締役社長 CEO

岡 良一

●重点施策

からだの健康

- 健康診断の実施とその結果に基づく生活習慣病予防・重症化予防対策
- 健康保険組合とのコラボヘルス事業としての健康アタック、健康セミナーなど
- 事業所運動会、ソフトボール大会、ファミリーフェスティバルなど

こころの健康

- セルフケア：ストレスチェック、メンタルヘルス研修
- ラインケア：ラインケア研修、解決志向型コミュニケーション研修
- 産業保健スタッフによるケア：産業医面接、休業者職場復帰支援

職場の健康

- 長時間労働者の医師面接による健康管理の徹底
- 年休取得促進月間や年休奨励日、メモリアル休日の設定による確実な休日取得
- ストレスチェック結果に基づく高ストレス職場の職場環境改善活動

グループ各社と健康保険組合とのコラボヘルス（協働事業）を推進

三井E&Sグループ全体の健康経営推進のため、事業主である会社と健康保険組合が一体となって様々な健康増進施策を展開しています。

●定期健康診断結果の活用

三井E&Sグループ5社では、定期健康診断の結果をもとに、生活習慣病予備群に該当する従業員への特定保健指導（対象者の支援レベルに合わせた働きかけやアドバイス）や、ハイリスク者を対象とした重症化予防のための個人指導等を行っています。

●個人・職場で取り組む「健康アタック」

グループ各社の従業員と被扶養者を対象として2005年から実施している「健康アタック」は、年に2カ月間、多彩なコースのなかから自分に合った健康課題を選択して各自で取り組む健康増進支援策です。

●メンタルヘルス施策

メンタルヘルス研修会、ストレスチェック、メンタルヘルスニュースの発行、カウンセラー面談などを計画的に実施しています。メンタルヘルス研修会では産業メンタルヘルスに詳しい労働衛生コンサルタントの方を講師として、各事業場の状況に即したテーマで、毎年、各地で講演していただいています。

事業場外資源（外部委託）によるEAPサービス（従業員支援プログラム）を三井E&Sグループ各社の従業員（約6千人）とその家族が利用できるよう、三井E&Sホールディングスにて一括契約しています。このサービスは、電話・Web・FAX・面談にて健康・メンタル・法律相談をプライバシーが厳守されたうえで24時間受け付けるもので、10年以上継続している従業員支援策です。



健康アタック



三井E&Sグループ相談ダイヤル



三密を回避して築地本社地区で実施したメンタルヘルス研修会